

ANAグループは、経営計画を確実に遂行しています

株主の皆様におかれましては、益々ご清祥のことと、お慶び申し上げます。

さて、2011年3月期第1四半期は、前年同期と比較して収益は大きく改善し、営業利益が黒字に転換いたしました。

国内線旅客事業では、割引系運賃による競争激化の影響等により、単価は前年同期を下回りましたが、旅客数が前年同期比105.9%と増加した結果、48億円の増収となりました。

国際線旅客事業は、アイスランドの火山噴火やタイの政情不安といった影響を受けましたが、ビジネス・旅行需要ともに回復を見せ、旅客数、単価とも前年同期比で二ケタ台の伸びとなりました。特に北米線、中国線の旅客数の伸びが顕著であり、営業収入は202億円の増収となりました。

貨物事業については、国際線貨物で中国・アジア路線を中心に大きく輸送量を伸ばし、営業収入は97億円の増収となりました。

ANAグループは現在、グループを挙げて収入の安定化と生産性向上、コスト削減に向けた諸施策を断行しております。これまでのところ、業績はほぼ順調に推移していますが、海外における景気減退懸念や円高の進行によるわが国企業業績への影響

など、経営環境は依然楽観できない状況にあります。このような状況下で引き続き、今春発表した「ANAグループ2010-11年度経営戦略」を確実に実行し、経営基盤の強化を図り、気を緩めずに邁進していく所存です。

10月の羽田空港容量拡張を目前に控え、さらに厳しさを増す競争環境の中、安全性、サービス、品質の維持向上を柱に、2011年3月期の黒字化達成に向け、私自らANAグループ全役職員の手綱を締めてまいります。

株主の皆様におかれましては、変わらぬご愛顧とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



2010年9月

代表取締役社長 伊東 信一郎